

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		排水路整備事業					
事業の概要	事業の概要	<p>平成16年台風23号による被害もまだ記憶に新しい現在、排水路の整備については各地域とも強い要望があり、行政としても水害防止・環境衛生の向上のため、早期に排水路の整備を実施することとしている。</p> <p>本事業の実施により浸水区域を解消し、大雨時の町民の安心安全な生活に寄与するものである。また、場所によっては有蓋側溝へと変更しており、これにより道路を広く使うことができたり臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図るうえで多くの効果がある。</p> <p><実施箇所> ・東排水路、香河排水路、藪後里道側溝、菖蒲線、大門桑小線、男山公民館前、野田川本線、館中縄線</p>					
	事業期間	平成18年度					
	総事業費	6,321	本年度事業費	6,321	交付金交付額	3,150	
事業評価	事業の必要性	平成16年の台風23号による被害もまだ記憶に新しい現在、排水路の整備については各地域とも強い要望がある。行政としても水害防止・環境衛生の向上のため、早期に排水路の整備を実施することとしている。					
	事業の有効性	本事業の実施により浸水区域を解消し、大雨時にも町民が安心して生活できるようになる。また、有蓋側溝とすることにより道路を広く使うことができ、さらに、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図るうえで多くの効果がある。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果	排水路の整備により環境衛生の向上が期待でき、快適でやすらぎのある生活環境づくりに資する。				
5 行財政改革に資する成果		大雨時の浸水が常態化している区域等では、被害後の復旧等に係る費用の削減が見込まれる。また、各種防災事業と関連させることによって、より能率的に効果を発揮するものである。また、水路洗掘の防止により浚渫等に係る経費の削減にも資する。					
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。